

仙台敬老奉仕会主催行事の通訳(2016.9.15)

第2日：せんだんの里訪問と東北大学での講演会

午前は、広大な敷地の中にある東北福祉大学関連施設の「せんだんの里」を訪問し、特別養護老人ホーム、ショートステイ、グループホーム、居宅介護支援事業所と、認知症介護施設の視察を行いました。

午後は、東北大学医学部に移動し、「高齢者の安らぎと平穏な医療介護のためのボランティア活動」の3名の特別講演会が行われました。



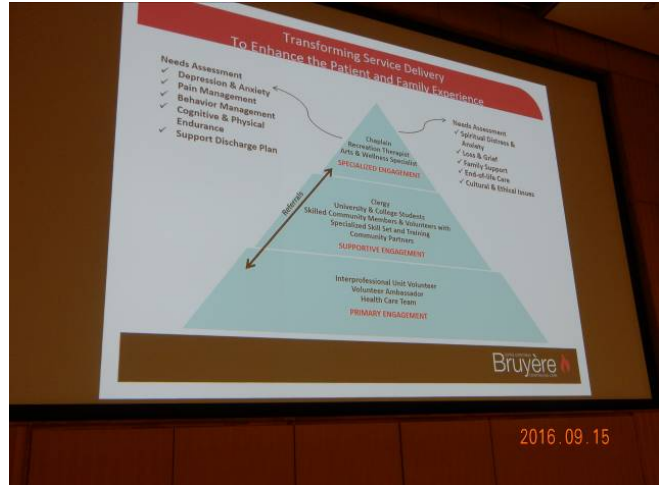
「せんだんの里」入居者がくつろぎ、団らんする部屋で、



菊地、八田、芳賀が担当し、視察後の説明と交流会。



東北大学医学部で講演される団長のカレンさん



介護ボランティアの取り組む組織、担当者と役割を示す。



菊地、芳賀、八田とドイツからのレベッカさんも参加



講演終了後に東北大学から礼状と記念品の贈呈

第3日：パルシア訪問と第2回国際介護フォーラム

午前は、カトリック児童福祉会特別養護老人ホームパルシアを訪問し施設視察と、パルシアが特に力を入れている地域住民との交流の様子を伺う。 午後は、一般市民を対象にしたフォーラムが仙台市福祉プラザのふれあいホールで行われ、3名は満員の参加者に講演をされました。



園長の説明を上之原、末永、佐藤(政)が担当し通訳。



入居者が食事・団らんする広間で、



視察を終え、パルシアの皆さんと



日英両語での講演会。 通訳は大学教授と通訳専門家。



会場を満杯にした一般市民の参加者



日程が終了し、3名の歓迎会と敬老会創立10周年祝賀会。